

第14回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第11回）

- 1 開催日時 令和6年2月19日（月）午後7時00分～8時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民7名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	おくやみ手続窓口について	<p>おくやみ手続窓口について、実は2月に市役所に死亡届を出しに行きまして、感じたことを一言だけ。おくやみ窓口ができて、まず一番初めにどういう形で市民がやってくるかということだと思うんですが、多分、死亡届を持ってきたりするのが最初だと思うんです。そこに、何かもうちょっと積極的な対応がされてもよかったのかなという印象を持ちました。まだ慣れていないのかもしれないです。</p>	<p>死亡届を出されたときに、おくやみ手続窓口がありますので、こういう手続でこういう手順でまず利用してくださいとか、そういう積極的な働きかけがなかったということですかね。分かりました。</p>
2	タウンミーティングの横のつながりについて	<p>こういったネット上でというのは初めてなんですけども、半年以上前に一度、タウンミーティングが行われたところに参加させていただいたんです。その時にとても強く感じたのが、皆さん、いろんな思いを持たれてこの場に参加されていて、市長に対して一対一で意見をおっしゃっているけれど、それだけのような印象を強く持ったんですね。それがとてももったいないと思ひまして、今日端的に一言だけ申し上げたかったのは、このもったいないという思いを持ち寄った人たちが、今日の会議だけで終わりではなくて、その後に横のつながりを持って、協働して、何か市のバックアップを受けながらまち自体をよくしていくというようなシステム、そのようなものがつくれないか。また、市役所のセクションでそのようなことをしていただいている場所があるのかということも伺いたいなと思っています。</p> <p>アイデアとか、今の自分の状況というものをいろいろ組み合わせて、横のつながりというものをつくって、こんなにも心強い市民たちがいっぱいいるんだということ、有効に活用したほうがいいんじゃないかと思っています。だからこそ、もっともっと市長ともお話をさせていただきたいです。そのときに、具体的なアイデアを提案していきたいと思っています。何とぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>まずは、今、例えばこういう場を踏まえて横のつながりができるような仕掛けができていないかと、できていないです。もったいないという感想については、私もやっておきながら、御指摘といいますが、その感想自体はおっしゃるとおりかなと思っています。</p> <p>ただ、このタウンミーティングは、今日やってちょうど14回目になりますので、1年経ったので、4月以降はやり方を変えていこうかという話をしております。ただ「どうやって横のつながりをつくって、それを継続させていくか」みたいところは、まだ私も絵が描けておりませんので、よろしければ、例えばこういうふうにしたらいんじゃないかとかというのも含めて御意見があればお願いしたいんですけども。</p> <p>まずは一回そういった御意見をいただいたということにしておいて、他にまず質問とかをいただいて、もし時間があれば、そういうことに関する意見交換もできればと思いますので、そんな感じでよろしいですか。</p>
		<p>アイデアとか、今の自分の状況というものをいろいろ組み合わせて、横のつながりというものをつくって、こんなにも心強い市民たちがいっぱいいるんだということ、有効に活用したほうがいいんじゃないかと思っています。だからこそ、もっともっと市長ともお話をさせていただきたいです。そのときに、具体的なアイデアを提案していきたいと思っています。何とぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>分かりました。今はすぐにこうしようというのは、なかなか勝手にお話できないので、改めてそういう御意見をいただいたということで、本当にもったいないとおっしゃる、そう感じられることをなくすためにどうしようかとか、逆に集まっていたいただいた思いを、部分的に、希望があれば形にしたいということを実現するような場づくりとか、そういうことも含めていろいろ考えてみます。</p> <p>オンラインでやると、そのまま横のつながりって何もつukれない状況ですよ。だから、できれば対面のときに、特にそういう場があったり、もしくは、私との一対一を個別に繰り返すだけだともったいないので、できればここで参加された方々もつながるといいうか、そういう場になると、単に私との意見交換だけではなく、みんなで意見交換するという方が、ある意味今後につながっていく可能性があるという、何となくそういうことはぼやっと思ってはいたんです。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
3	ホームページ上の審議会情報について	<p>小金井市の公式サイトの中の審議会開催予定というコーナーにほとんど審議会が出てこないの、それを見せたいです。環境市民会議の生活環境部会というところで、審議会開催情報の告知調査というのをやっているんですが、2月1日と2月15日の市報の発行時点で、各審議会をこういうふうに掲載しているんです。2月1日号に、2月5日の開催のことが載っている。2月8日のことが載っている。または、2月15日だと、2月16日開催の予定が載っているという、翌日開催のことを2月15日載ったんじゃないかと思ったり、翌日の開催を傍聴したいという人間が行こうと思ったら、突然前日に、2月15日号に発行されてもしょうがないんじゃないかと。</p> <p>あと、審議会開催予定というところ、2月は今約20件書いてあります。2月に20件審議会があるんです。ところが、小金井市のページに行って、審議会開催予定というふうにやりますと、小金井市の審議会のところがあるんですね。PC版で御覧になれます。今審議会開催予定であるのは、7個しかない。全然少ないんじゃないかと。</p> <p>トップページで、イベントカレンダーの情報カレンダーを見て、審議会等というのを押します。そうすると、2月にあるのはこれだけです。関係あるのは、これと、1、2、3、あと、このミーティングがあるだけ。でも、実際は20か所あるんですよ、審議会が。どこにも載っていないということ。広報があまりにひど過ぎるんじゃないかと思っています。審議を傍聴したい人間にとってみると、全く分からないので、その辺を改善してほしいです。</p>	<p>そんな指摘をさせてしまって、大変申し訳ありません。ちょっと整理させてください。現状、各課のほうで、全てホームページに出すとか、イベントカレンダーに出すとかというのは、各担当課の方でやることになっているんですね。それがちゃんとできているところもあれば、どちらかというと、ちゃんとできていないところの方が多んじゃないかという御指摘だと思いますので…。明日、早々に全庁にその指摘をお伝えし、まず交通整理したいと思います。</p>
4	ふれあい収集事業について	<p>私は、小金井市の訪問看護ステーションに勤務しております。訪問看護を日々小金井市内でさせていただいています。高齢者の方のおうちに行く機会がほとんどなんですが、すごく困っていらっしゃるもの一つとして、ごみ出しのことなんですけれども、ごみ出しの支援というのは、たしか要介護3以上の方は支援が別で、ごみ回収が受けられたと思います。ですが、それに該当されない方でも、杖歩行だったりとか、お一人暮らしだったり、ごみ出しすることが難しくなっている方が結構いらっしゃいます。おうちの中にゴミがたまってきたり、環境もよくない。ごみ出しを頑張っている方もいらっしゃるんですけど、片手で持たないといけない。片手は杖を持っていたりとかで、転倒されておけがされたりという方もいらっしゃる。</p> <p>ごみ出して、かなり日常的な問題で、私たちがなかなか携わることが難しいところなんですけれども、介護を受けていらっしゃる方で、支援の中にヘルパーさんのごみ捨てというのを入れられる方もいらっしゃいますが、支援を受けにくい方がほとんどだと思うんです。小金井市は、結構きちっとごみ出しのことが細かく決まっているので、それに合わせるのが難しい方が結構いらっしゃると思って、SDGsの観点的にはごみ出しの仕方はすごく良いと思っているんですけども、そういう人たちが難しいところもたくさんあって、どうにかできないのかなと思っています。</p>	<p>基本的に、介護認定で要介護3以上の高齢者の方が対象でそういう支援があるわけですが、要介護3になっていない方でも、ふだんのごみ出しが厳しい方がいらっしゃるということですね。分かりました。この件は、今私の方ですぐどうこうというのはお答えしづらいところもありますので、介護の担当と話をしてみます。それをメニューとして加えることが制度でできるものなのか、そうじゃないのか、そういうことも含めて、いただいた御意見を参考に何ができるか、他市の状況も含めて調べたり、できることは何かあるかというのは考えてみたいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	社会の生きづらさと優しいまちについて	<p>実は、子どもオンブズパーソンの話を聞いたときに、ああ、私が子供のときにあったら本当は頼りたかったかもという存在で、ただ、私が経験したぐらいの悲しい思いをしている子って、大人が信用できないから、そういう面では、本当に悩んでいる子を助けられることに、もしかしたら直結できないかなというのが、当事者、私が昔そうだったからというので、一個お伝えしたいことではありません。</p> <p>私は行きづらい若者の一人です。子供の頃の出来事のせいで、躁鬱と心のゆがみという生きづらさを抱えています。でも、ふだんの私は、別に、特に困り事はないんです。ただ、症状が出たときは、めちゃくちゃ困ります。そういうのも原因で、社会参加がなかなかできないというか、参加してもうまくいなくて、何となく一般社会にいつらいかなという感じなんです。</p> <p>ぱっと見は分からない、生きづらさが分からないんだけど、実は……という若者が今とても多いように感じます。見た感じは分からない生きづらさを抱えている結果、彼らには一般社会に安心していられる居場所がないんです。私もそうですけど。気づかないうちに、そうやって一般社会、明るい世界からこぼれていっちゃうというのかどうしてもあります。生きづらさの内容も人それぞれですけど、障害とか病気も生きづらさの一種かなという捉え方を私はしています。</p> <p>生きづらさの中で、病気とか障害とは認められない子は、本当に厄介です。私は、心のゆがみみたいなものです。最近よく言われる発達障害のグレーゾーンの方、あれも障害とは認められないので、なかなかそういう人って医療や福祉に繋がらなくて、支援のしようがないんです。そういう人に限って、みんな、私みたいにぱっと見普通で、何もなさそうに見えるんですよ。結果的に社会からこぼれて落ちてしまって、その受皿が、今は夜の世界、夜の社会になっちゃっているというのが現状かなと思います。</p> <p>ただ、夜の仕事をしている子に多いのは、やりたくてやっているわけじゃないという子がすごく多くて。でも、どうせ私にはこういう仕事しかできない、こういう世界でしか生きられない、そう思ってやっている子もかなり多いです。</p> <p>私は、生きづらさを抱えている人も、こういう普通の社会、いわゆる昼の世界、明るい世界で居場所を感じられるという、そういう世の中に、日本全体がなってほしいなと思っています。あと、みんながどこにいても笑って暮らせる国であってほしいと思っています。ただ、今の私には、具体的にどうすればいいというのは、はっきりは思いつかないんですね。でも、当事者として一緒に考えることはできます。</p> <p>私小金井市に望んでいるのは、小金井市というまちが、世の中を、この先みんなが生きやすい社会になっていくために変わっていくきっかけのまちになってほしいです。そのためだったら、私も無理のない範囲で、できることだったら御協力しますのでという感じで、それが多分、私のためにもなるんだと思います。そうやって変わっていくことで、私ももっと生きやすくなるのかなと思っているので、生きづらさを抱える当事者として、私は、そういう生きづらい人たちも、もっとこれから先もちゃんと生きていきたいと思える、そういうまちに小金井がなってほしいと思います。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>個人的な御経験も含めて、いろいろお話いただきました。これまでいろいろ御経験されて、大人が信用ならないという、そういう出来事があったというお話もありました。</p> <p>お話聞いている途中で、うちのケースワーカーとか、市の担当とか、相談できないかなと思っていたら、うちのケースワーカーのお話も最後にしていただいて、それはそれで、そうやっていただいたのは本当にありがたかったです。</p> <p>ただ、最後におっしゃっていただいた人として対応してほしいというお言葉は、その言葉として聞いた覚えはないかもしれませんが、いろんな市民への対応として御指摘いただくことも結構ありますので、改めて言っていたいただいたことを受け止めて、市としての対応をしっかりとやっていきたいと思えます。</p> <p>あと、子どもオンブズについては、本当に相談したい子供については、まだ十分ではないと思っています。でも、我々としては、そういう子供こそ相談できるような場所にしていきたいと思っています。簡単なことではないと思うんですけどね。だから、大人として信用いただけるというか、市として、相談室があって、こういうために設置しているんだよということをもっともっと周知して、気軽に相談できるような場所にするようにしていきたいと思っています。</p> <p>生きづらさを抱えている、特に若い人たちがいるという話は、私も直接個人的に聞いた話もあったりもしますし、今一般社会でも言われていることです。小金井市は、障害者差別解消条例という条例もありますし、理念だけではなく、実質的に人権侵害にならないことを市としても取り組んでいかなければなりません。ただ、まだまだ、それ自体も周知できているかという中途半端な状況です。で、お話いただいたことをしっかりと受け止めて、我々として改めて、やるべきことを整理して、できることから取り組んでいきたいと思えます。また、必要であれば、ケースワーカーを含めて、別の部署でもいろいろ相談窓口がございますので、できることをしっかりとやるように取り組んでいきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
		<p>最後に締めくくりなんですけど、私自身が何で前を向いてまた歩きたいと思えるようになったかということ、実は小金井市のある男性職員さんのおかげでそう思えるようになりました。ある日なんですけど、窓口で話していたときに、その男性職員さんが私に言ってくれたある言葉のおかげで、私はまた明るい世界で生きていきたいって思えたんです。</p> <p>生きづらさは抱えています。でも、私たちも人間です。だから、私たちみたいな障害のある人と関わったり、生きづらさを抱えている人と関わることの多い福祉系部署の市の職員さんに思うことなんですけど、人としての対応を心がけてほしいかなと非常に思います。この人、私らのこと障害者だからって内心ばかにしているなって思うことも結構あるんで。だから、そういうところから変えていかないと、多分私たちがみたいな生きづらい人はこの世界で生きたいと思えないと思います。</p>	
6	外国にルーツをもつ子供たちの支援について	<p>今日、実は市長の御意見をお伺いしたかったのがありまして、冒頭の御説明でありました子どもの権利条例だとか、今のオンブズパーソンの話だとか、こういうことで、非常に積極的な子供支援の取組みみたいなものも行われているんだろうなどは理解しているんですが、最近気になったのは、基本的に住民サービスというのが、子供を含めて外国人をあまり念頭に置いていないんじゃないかなという気がしています。</p> <p>具体的に何かということ、例えば外国から来た子供を小金井の学校に入れようなんて思ったときに、就学手続のやり方がホームページ上で見つからないんですね。国分寺市なんかだと、「入学の手続について」というところがすぐに検索で出てくるんですけど、外国の子供をどうやって入学させたらいいかというような手続がなかなか分からない。</p> <p>実は、学務課に電話でお話をお聞きしたら、社会福祉協議会にパンフレットがありますよというお話だったんです。でも、社会福祉協議会というのが、仕事の中身を見ていくと、外国人の支援というようなことが挙がっていないですね。</p> <p>例えば、外国から来た子供が新年度に各学校に入るなんていうときに、子供の数が、どの学校にどのぐらい見込まれるかみたいなものが、どうもきちんと把握されていないんじゃないかなという話も聞いています。</p> <p>何でこんな話をしているかということ、私、最近、外国にルーツを持つ子供たちの教育支援というのをお手伝いしようかと思ひまして、そういうグループの話し合いの場にこの前参加したんです。そういった中で聞いてみると、小金井市はそういう対応については、どうも、例えば国分寺市なんかには比べても非常に遅れているんじゃないかというのがあって、行政がそれぞればらばらに動いているというのもありそうなんですけれども、市としてこういう問題を解決するための糸口というか、やり方を考えていらっしゃるかどうかが、その辺をお伺いしたいなと思いました。</p> <p>また、子供だけじゃなくて、実は子供は日本語がある程度できるんだけど、親御さんができないという方が結構いらっしゃるみたいなので、支援というのはもっと幅広い、就学支援、学習支援だけじゃなくて、もうちょっと取組を考えなきゃいけないのかなというふうには思いました。</p>	<p>ありがとうございます。この話を、多分そのグループの方も含めている、このタウンミーティングでもそうですし、実は議会でも取り上げられておまして、小金井市としては、なかなか外国ルーツのある子供を含めた市民に対してしっかりと支援ができてないんじゃないかという御指摘をこの1年間いただいているところなんです。ですので、我々としては、一つ大きな課題として捉えているところではあるんですけども、学校の就学に関する手続をどのように伝えているかというのは、私のほうで今お答え出来かねますので、まずはそういう厳しい御意見があったよということは教育委員会のほうにはしっかりお伝えをさせていただくのと、内容を確認して、必要であれば改善していきたいと思ひます。</p> <p>それ以外でも、子供に関して言うと、学習支援というところが一番メインにはなってくるんですけども、子供だけではなくて、外国ルーツの市民の方に対して総合的に支援をする、もしくはそういう案内をする、そういった仕組みが整えられてないということなんです。課題として捉えております。大変申し訳ありません。あとは、体制をどうするかとか、どこがどう受け持つとか、その交通整理をやらないといけない、場合によっては組織を変えないといけないとかっていうのがあるんです。</p> <p>今、外国ルーツの市民を総合的に支援する担当がないという問題が、ちょうど1年前分かりまして、どうするという話を今しているところなんです。まだ今々それをどう対応するかというところは整えられていないんですけども、まずは就学手続であったりだとか、今直近で言われている情報提供の在り方を含めて、できるところからしっかり対応していきたいと思ひます。</p> <p>一応、そういう御指摘もあったということも踏まえて、今年度、ちょうど1月にイベントがあったんですけども、国際支援協会の皆さんと一緒に、小金井市として協働事業でシンポジウムを行いました。そこで、我々としてはもう課題というのは分かっておりますが、市民の皆さんを含めて、そういう課題があるということ、やさしい日本語の使いみみたいな講座のコーナーもあって、市の職員も何人か出席しておりましたので、しっかり一緒に学ばせていただいたところです。そういうふうにして、課題に対して我々としてしっかり取り組んでいきたいと思ひます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	市報について	<p>市の広報の話なんですけど、どこの自治体も割と全部の家にポストインしているじゃないですか。あれって、何か理由があるんですか。</p> <p>うちの地元の実例でお話しさせていただこうと思うんですが、その市報って、それこそ登録している家しか届かないシステムになっている。結構クオリティが高くて、それこそフルカラーで、ちゃんとした硬い感じの紙で、写真も沢山あるみたいな、ちょっとお金かけてますみたいな感じなので、その代わりに全部の家には入れてないよという感じだと思うんですけど。</p> <p>非常に申し訳ないんですけど、私も、いつも市報は一応ポストには入っているんですけど、すぐ紙ごみに入れてます。あと、小金井市のLINEができたというのあって、若い人とかだと、そっちに登録しているとそれで割と情報が入ってきたりとかもあるので、もしかしたら、コストの面を考えて、クオリティを上げるんだったら、うちの地域の自治体みたいな感じで進めても私はいいんじゃないかなと何となく思います</p>	<p>実は、全国を見渡すと、全戸に配布していない自治体もあるんですが、多分、都内は大体全戸配布していると思うんですが。というのは、例えばコロナになって、ワクチンの情報であったりだとか、緊急的に全市民にしっかりとお伝えしないといけないとなると、一つ重要な必ず届く媒体というのは絶対必要になりますので、市報というのが一番、ポストに届くというところでは確実であるということなんです。だから、全戸配布している自治体は多いんだと思いますし、我々もそういう認識でいます。</p> <p>いろんなやり方がいろんな自治体でありますので、今言っていたことも参考にさせていただきます。できれば、全戸配布というのは変えない形で、逆に言うとデザインとか内容、写真もしっかり使って、魅力的な広報紙になるように頑張ります。</p>
8	女性支援について	<p>結構女性で、自分の難しい過去とかというのをなかなか発信できなくて悩んでいる方ってすごく多いと思います。今回、4月から女性支援新法というのが出されて、女性に対する支援を広げようという動きが国のほうからあると思うんですが、この間テレビで拝見したんですけど、国立のほうでは民間と協力し合って女性の支援をやっているというお話を聞いたんですけども、小金井市のほうはそういうのを考えていらっしゃいますでしょうか。</p> <p>国立には実際、民間の自助会というんですかね、被害者の会みたいなものがあるというのを社協の方に聞いたんですけど、小金井は実情そういうものはないと聞きました。</p> <p>私は、本当につらい思いをした人がちゃんと悲鳴を上げられる、そういうまちであってほしいなって思うので、そういうのがあるといいなとは思っていますね。</p>	<p>すみません、今つぶさに細かい情報を答えられないんですけども、ただ、今後、令和6年度に、次の男女共同参画の行動計画というものをつくる予定なんです。その中で、いわゆる女性支援みたいなものの中にも入っていますので、新法とかへの対応も含めてその中で検討することになるかと思っています。担当が考えていることがあるかもしれないんですけど、私はまだお答えできませんので、御容赦いただければと思います。</p> <p>今そういう情報をいただきましたので、我々も調べてみて、担当とも話をしてみたいと思います。ありがとうございました。</p>